

FIWAREと共通語彙基盤

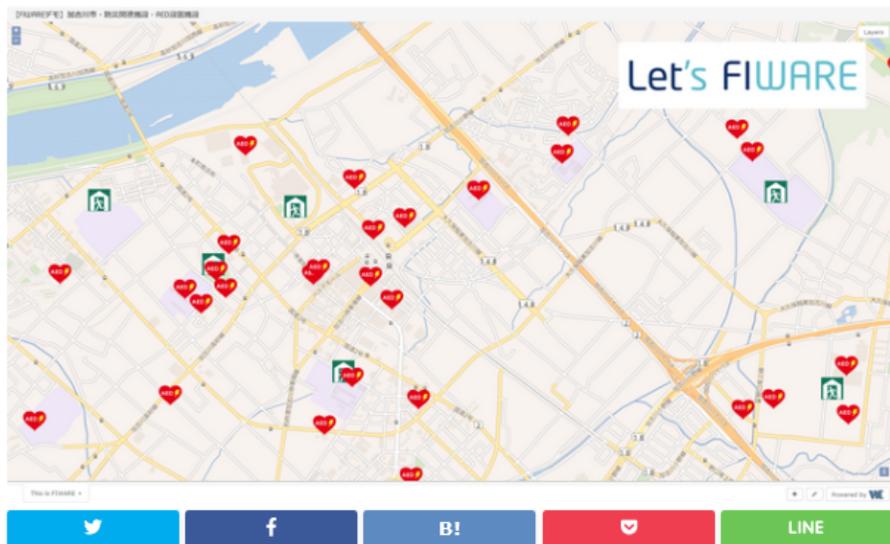
2019-03-20 IMI勉強会

FIWAREのコミュニティより、活用事例のご紹介

Ecosystem

加古川市オープンデータ API の活用紹介

© 2019年2月4日



FIWARE を活用したスマート・シティ・サービスを市民に提供している、加古川市（兵庫県）のオープンデータ API を利用させていただきました。この API の利用方法と FIWARE Wirecloud によるオープンデータの可視化について紹介します。

FIWARE とは

FIWARE (ファイウェア) は、スマートなデジタル未来のためのオープンソース・プラットフォームです。

FIWARE Wirecloud によるオープンデータの可視化

最後に、FIWARE Wirecloud を利用したオープンデータの可視化をご紹介します。オープンデータ API で取得できる、防災関連施設 (DisasterManagementFacilities) と AED 設置施設 (AEDFacilities) のオープンデータを可視化してみました。

*AED : Automated external defibrillator

▶ What is FIWARE?

▶ FIWARE for developers

▶ FIWARE Catalogue

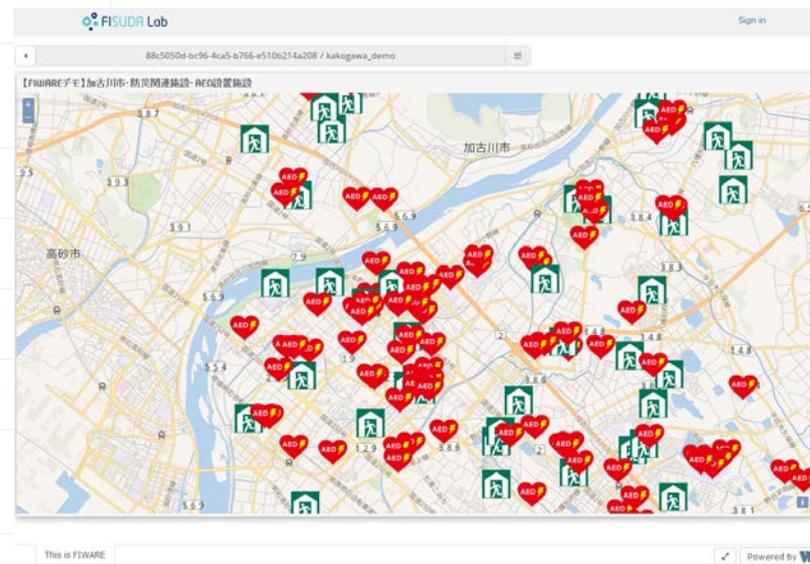
▶ FIWARE Lab

▶ FIWARE Summit

▶ NGSI / データモデル

▶ FIWARE ツアー・ガイド

▶ チュートリアル



IMI と FIWARE の連携デモ

共通語彙基盤のデータ相互運用性を実証するため、自治体が公開する避難所のオープンデータを、共通語彙基盤のツールを使い、データ形式変換し、FIWARE に取り込み、可視化してみます。

データモデル記述 (DMD : Data Model Description)

データ形式変換を行うために、DMD が必要になります。DMD はデータモデルで、データの構造や項目、各項目の値の範囲や書式などを説明するものです。避難所のオープンデータをデータ形式変換するために、避難所の DMD が必要ですが、以下に公開されていました。

- 避難所基本データセット実装版 (PD6943) (<https://imi.go.jp/dmd/0000017>)
- PD6943 (避難所に関する語彙の検討) (<https://imi.go.jp/pd/pd6943>)

自治体の避難所オープンデータ

次の自治体の避難所オープンデータを、データ形式変換の対象としました。

埼玉県戸田市 避難所基本情報

<https://opendata.pref.saitama.lg.jp/data/dataset/evacuation-space>

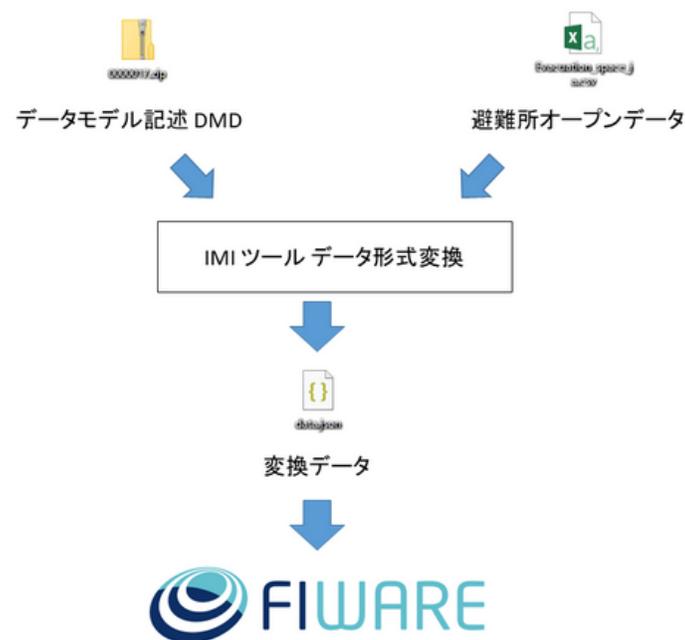
兵庫県加古川市 防災関連施設

<https://opendata-api-kakogawa.jp/ckan/dataset/disastermanagementfacilities>

山形県山形市 指定緊急避難場所一覧

<https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/kakuka/somu/bousai/sogo/shiteikinkyuhinanbashoitiran.html>

FIWAREコミュニティが作成した、IMI 共通語彙基盤を活用した事例のデモをビデオで公開していますのでご覧下さい。



<https://www.letsfiware.jp/fiware-imi-evacuationspace-demo/>